

活動紹介!

ぱぴよん

「ぱぴよん」はバレエ教室です。35年の歴史があり、本会館では、25年前の改築以来続けられている老舗の団体です。幼稚園児から学生まで、現在40名程の生徒が5つのクラスに分かれてレッスンをしています。2年に1回、市内の「こもれびホール」で大きな発表会を行うほか、本会館のホールでも毎年年末に発表会を行っています。写真は、幼児クラスが柔軟体操をしている様子です。体が柔らかいですね。



12月の催しから

- 2(金) 3(土)
 - ・ なでしこ幼稚園発表会
- 4(日)
 - ・ 山野楽器音楽発表会
- 10(土)
 - ・ YKミュージック
- 11(日)
 - ・ 八鼓会(太鼓の演奏)
- 17(土)
 - ・ 畑野ピアノ/教室発表会
- 18(日)
 - ・ 小籠バイオリン教室発表会
 - ・ 宮地楽器音楽発表会
- 20(火)
 - ・ 加賀ピアノ/教室発表会
- 25(日)
 - ・ そよかぜ発表会(合唱)



★成美教育文化会館は、12月28日(水)から1月6日(金)まで年末年始休館日となります。

これらはあくまでも予定ですので変更もございます。一般の方の参加の可否等、詳細は主催者までお尋ねください。

会館事務室から



今月の話題一 教員不足

令和4年度の公立学校教員採用試験の全体の競争率が、平成3年度と同率で過去最低の3.7倍、小学校においては2.5倍と、3年連続で過去最低となったことがニュースになりました。全体の競争率は、平成12年度の13.3倍から一貫して低下傾向が続いています。これについて文部科学省は、大量退職等に伴う採用者の増加と受験者の減少によるところが大としています。

小学校においては、教員免許を取得できるのは全国で限られた数の教員養成系の学部への進学者であって、もともとその総数が少ない上に、中学校、高等学校と比べて採用枠が多いことが低倍率の一因ともなっています。ただし、受験者数が減っていることは事実です。

教育は国家百年の大計。志(こころざし)の高い優秀な教員が求められることは当然です。

しかし、教員を希望している若者が少なくなっていることは大問題です。教師の仕事の魅力ややりがいを発信するだけでは、もはや問題を解決できない状況です。働き方や処遇の改善も必要でしょう。競争率が2倍を切ると教員全体の質に問題が出てくると指摘する学者もいます。厳しい状況ですが、そんな心配をはねのけて、力のある教員がたくさん育って欲しいと強く願います。

